

Japanese Literature

26



尾崎士郎集
坂口安吾

〈監修委員〉

伊藤 整

井上 靖

川端康成

三島由紀夫

〈編集委員〉

足立 卷一

奥野 健男

尾崎 秀樹

北 杜 夫

(五十音順)

學習研究社

現代日本の文学

26

尾崎士郎 集
坂口安吾

全50巻

分割払価格 39,000円

現金価格 35,500円

昭和46年6月1日 初版発行

昭和48年2月1日 八版発行

著者 尾崎士郎
坂口安子

発行者 古岡秀人

発行所 株式会社学習研究社

東京都大田区上池台4-40-15

郵便番号 145 振替東京142390

電話 東京(720)1111 (大代表)

印刷 大日本印刷株式会社

暁印刷株式会社

製本 株式会社国会社

本文用紙 三菱製紙株式会社

表紙クロス 東洋クロス株式会社

製函 日本紙パルプ商事株式会社

*この本に関するお問合せやミスなどがありました
文書は東京都大田区上池台4丁目40番5号(〒145 学研
「ユーザー・サービス本部事務局」現代日本の文学係
電話は、東京(03)720-1111 内線352,353か、東京(03)
727-1600へお願いします。

© 1971 Printed in Japan

0393-164 626-1002

尾崎士郎文学紀行

愛知県 吉良港



（三）吉良港

一口にそう言われてい
が、吉良上野の本拠は三川
横須賀村である。後年、山
勢の荒神山で、勇ましい喧
嘩があつて、それが今は、
はなやかな伝説になつた。

（二）人生劇場



试读结束：需要全本请在线购买：www.ertongbook.com



矢作川が鉄橋の下からわかれて菅生川になる、水勢はやがて次第にゆるやかに成って、その上にかかった殿橋がちようど町の関門というかたちだ。

（「人生劇場」）

右 岡崎市を流れる菅生川

……「杉源」は吉良常の家でひと晩とまって、それから翌朝、吉田港に接続している宮崎村の海水浴場へゆくつもりだったのだ。

（「人生劇場」）

上 愛知県幡豆郡の宮崎の丘から梶島を望む

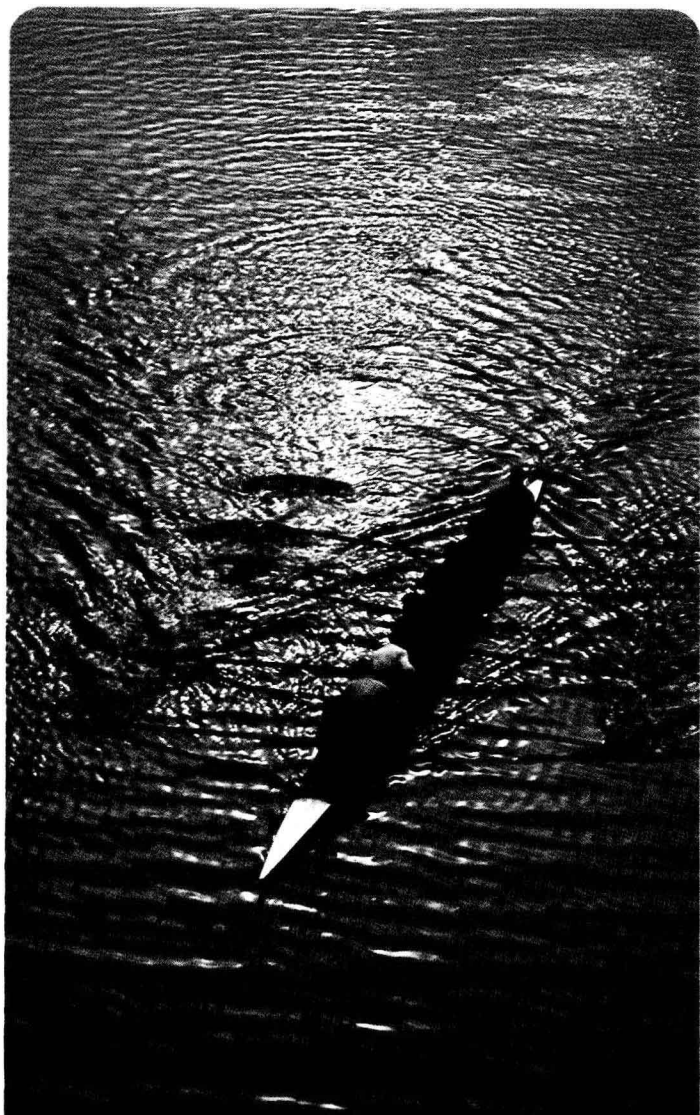


東京 上野公園裏の坂道

「いまどこにおるかね？」
「上野公園のすぐ裏ですがな」
(「人生劇場」)

堤防をへだてて高台の上にある、柳水亭の別館では、今、ボートからあがってきたばかりの三田の学生のむれが、ひと風呂浴びてから騒ぎだしたところだ。 (「人生劇場」)

東京 江戸川で訓練に励む学生ボート部員





東京 早稲田大学の大理庭園



彼は正面の玄関へは行かないで、すぐ樹立の中を左へそれて外庭の方へ廻った。折よく誰もいなかったたので、彼は池にそったほそい道を花壇の方へあるいていったのである。花壇のうらに藤棚があつて、陽ざかりに輝く青葉の中に、うす紫の花の房がたれ下っていた。

(「人生劇場」)



「——諸君、諸君の『ポリチックス』をとじよ、ノートをひき裂け！
そして、顔をあげよ」

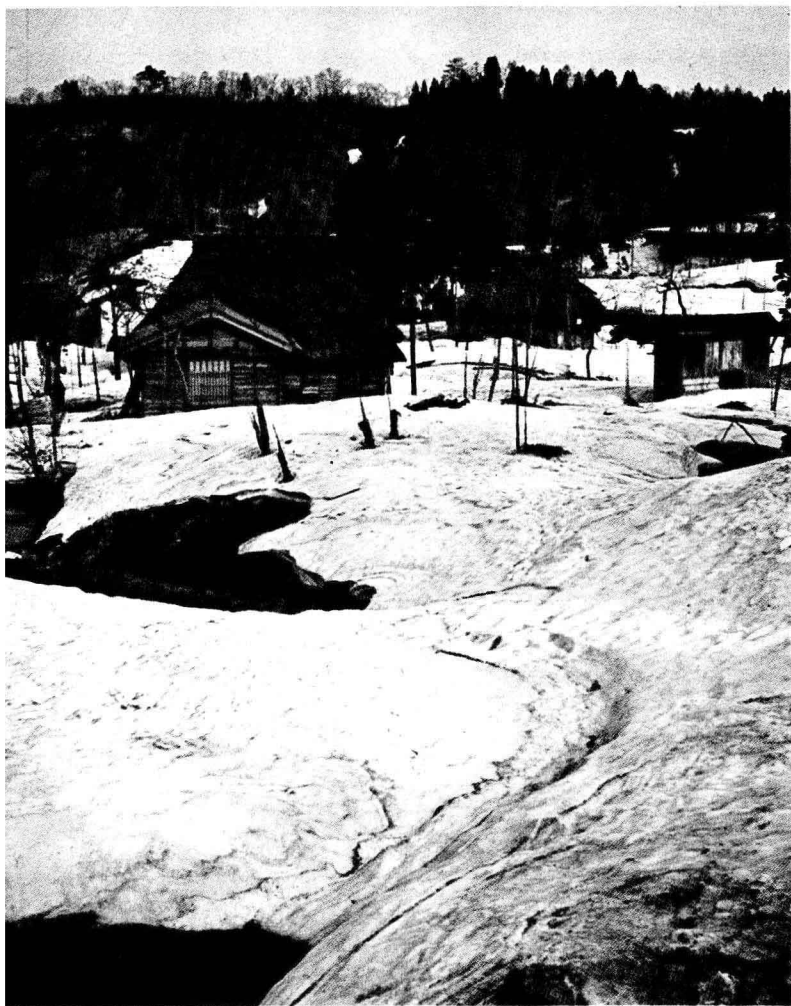
瓢吉は弾みのついた感情にまかせて、芝生の正面にそびえている「大隈老侯」の銅像をゆびさしたのである。



……桜の花の下へ人がよ
集って酔っ払ってゲロを
いて喧嘩して、これは江
時代からの話で、大昔は
の花の下は怖いと思っ
も、絶景だなどとは誰も
いませんでした。

〔桜の森の満開の下〕



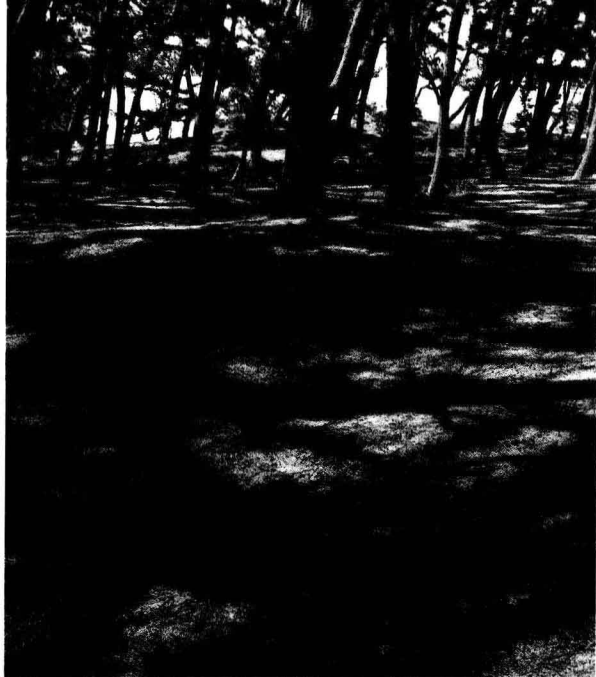


雪国の陰鬱な軒に、あまり明るい空が、無気力や、辛抱強さや、ものうさを、強調した。鉛色の雪空が、街のどの片隅にも潜んでいた。

（ふるさとに寄する讃歌）
右 新潟・五泉 安吾の母の実家である旧家の吉田家

……信越国境を越えてまもない山のどん底に、松の山温泉というものがある。単に山底というばかりでなく特別奇も変もない風景であるが、松山鏡の伝説の地と伝えられているところであらう。訪う者が少ない。（「逃げたい心」）
上 新潟・松の山温泉

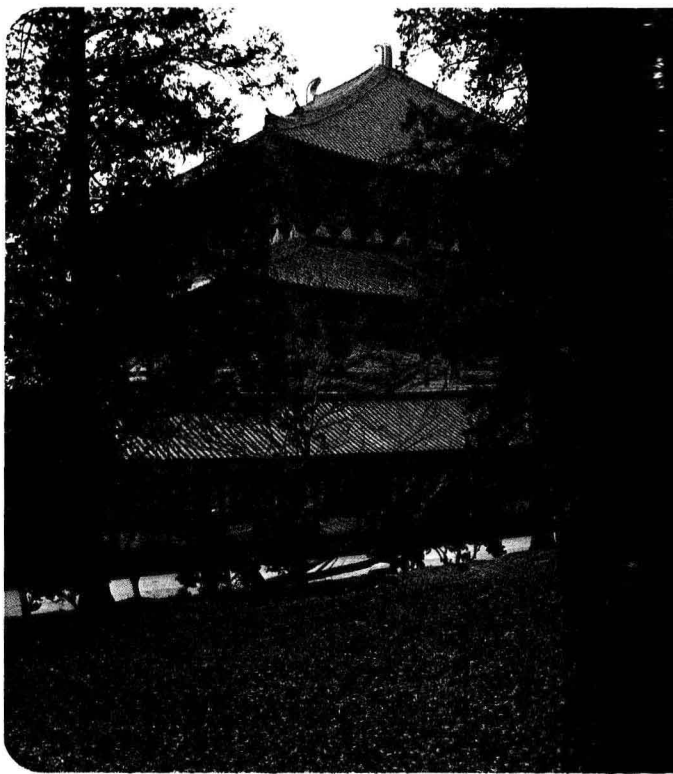




中学校をどうしても休んで海の松林で
ひっくりかえって空を眺めて暮さねば
ならなくなってから、私のふるさとの
家は空と、海と、砂と、松林であった。
そして吹く風であり、風の音であった。

（「石の思い」）

新潟 寄居浜と寄居浜に面した松林



奈良の都は栄えた。諸国に国分寺がたち、大仏が
つくられ、東大寺は都の空に照り映えた。天皇は
三宝の奴となった。 (「道鏡」)

上 奈良東大寺の大仏殿

私の家は昔は大金満家であったようだ。徳川時代
は田地のほかには銀山だの銅山を持ち阿賀野川の水
がかれてもあそこの金はかれないなどと言われた
そうだが、父が使い果たして私の物心ついたとき
はひどい貧乏であった。 (「石の思い」)

左 新潟・新津市 坂口家が代々住んでいた大安
寺のあたり